

浜松で女をアゲる法則 ③



ものづくり文化で創造力をアゲる！

オートバイ 自動車

車のカラーデザインで活躍するアゲなオンナ

スズキ株式会社 四輪技術本部 四輪デザイン部 カラー課

羽場 沙記 さん

車体色、内装色、シート表皮、外装部品、エンブレムデザインなど、車のカラーデザイン業務で活躍。車は高価で保有期間が長いので、より多くのお客さまが満足し魅力あるものであり、飽きのこないものを提案しなければならない。「色」は個性がとて反映されやすく、好みははっきり別れやすいので、とても難しい分野だという。この難題をクリアしていくためには、市場調査や分析はもちろん重要だが、日常生活で常にアンテナをはることが同じくらい大切と語

る。自然の色や形を見たり触れたりしながら色のストックをためる、お買い物中は他人が買っているものや、身につけているものをこっそり見る、興味がなくてもなるべく創造力を持ってみる、ありもので創作料理を作る…など自分の好みに偏らないように、常に柔軟性や創造力をアゲる努力を怠らない。「自分を育ててくれた大切なこの浜松で、多くの人々の豊かな暮らしづくりに貢献していきたい」と語る彼女の活躍を今後も期待していきたい。



世界のスズキから学ぶ
ものづくり精神の過去と現在。

浜松市が生んだ世界の自動車メーカー・スズキ株式会社の創業から100年余りの歴史に触れることができるのがこのスズキ歴史館。1909年創業のスズキ初代社長・鈴木道雄が発明した「桴箱上下器搭載織機」の展示に始まり、アルトやワゴンRなどヒット車が生まれるまでの歴史が一挙に紹介されている。「でもそういう所って古い車が展示してあるだけでしょ？」なんて思ったら大間違い。ここには車や歴史に興味がなくても、楽しめる仕掛けが目白押しなのだ。例えば、1967年の「フロント3600 (TC10)」のコーナーでは当時の家や生活をリアルに再現。ブロック塀から家をのぞくと、当時の暮らしの再現映像が視聴できる。

の3Dシアター「ファクトリーアドベンチャー」の鑑賞。大きな鉄の塊がカット・プレスされ、まるで生きていくかのよう に精巧で俊敏なロボットの様子が目前に迫る。驚きの速さで次々に形になっていく最先端技術には目を見張るばかり。「世界のスズキ」のモノづくりの真髄にじっくり触れ、クルマの楽しさを感じられる充実した時間を過ごせば、きっとあなたの感性もアがるはず。

2階のものづくり館では、コンパクトカーの開発企画会議の映像が流れ、自分が会議に参加しているかのような気分。そして小学生から大人まで、一番人気

スズキ歴史館

☎053-440-2020
■浜松市南区増築町1301
■開館時間/9:00~16:00
■休館日/月曜日、年末年始
夏期休暇等
■入館料/無料 P40台
※見学は完全予約制。
HP等からご予約を。
<http://suzuki-rekishikan.jp/>





遠州綿紬20柄はぎれセット2,707円 遠州綿紬はぎれ500円～



風呂敷
(70cm×70cm)
2,625円

ぬくもり工房

☎053-489-4761
■浜松市東区半田山二丁目24-3
テクノビジネスゲート内
■開館時間/10:00~17:00
■休館日/土・日曜日・祝祭日
※販売店についてはお問い合わせください。
<http://www.nukumorikoubou.com/>
ネット販売
<http://www.rakuten.co.jp/nukunuku/>

遠州綿紬

えんしゅうめんつむぎ

江戸時代から織り始められた遠州綿紬は、遠州地方の高温多湿な風土の中で改良を重ねられ、明治のころには人々の暮らしに生活着として根付いた伝統織物。使い込むほどに風合いが増し、肌に優しい天然素材の綿紬は、昔から変わることなく愛されている。現在でも、製造工程のすべてをこの地で行うという、100%メイドイン浜松。近年では日本の四季を感じる風合いの「日本色」が注目を集め、伝

統的な着物や和装だけでなく有名ブランドとのコラボ商品やインテリア素材として幅広いブランド展開をしている。日本色は、日本人の肌に馴染みやすいのが特徴的。主張しすぎず、それでいて奥深いパラエティに富んだ色彩の世界に触れられるから、日本女性としての創造力を自然とアゲてくれる魅力も。国内だけでなく世界進出も視野に入れ活動の場を広げる遠州綿紬から、今後も目が離せない。

浜松が誇る伝統工芸 日本色が美しい遠州綿紬



手縫い単衣着物仕立て
13,000円～(税込・配送料は別)

仕立て屋 塚本
<http://trm05099.hamazo.tv/>
E-mail:tel-me.t@ka.tcn.ne.jp

2001年の発売以来、女性を中心に人気のトートバッグ「ROOTOTE (ルートート)」。サイドに付いたカンガルーのおなかのようなポケット「ルーポケット」が象徴的。女性の「あつたらいいな」を次々と商品化し、オシャレかつ便利なバッグ約2800種類が世に送り出されている。このバッグを製造・販売しているのが、浜松市に本社を置く「スーパープランニング」。日々の暮らしに欠かせない雑貨などの「モノ」を作り出す創造集団で、32年前の創業以来、多くのオリジナルグッズを発信してきた。中でも、ファッション性、オリジナル性、クオリティを重視し、多くのデザイナーとのコラボ商品も展開するルートートシリーズは唯一無二の存在。現在では東京・代官山から世界各地にまで専門ショップを構えている。そんな数々の「モノ」を生み出す現場では、多くの女性が活躍している。「日用

浜松から始まったモノづくりが、 あのトートバッグブランドを生んだ!



代表・神谷さんと女性社員たち。

ROOTOTE

ルートート



大容量でも
かわいいデザイン。
グランデ 4,725円
昨年、雑誌で紹介され大ヒットした、だまし絵デザインのグランデミクリー待望の新作。



ママだって
オシャレに便利に。
マミールー 5,880円
アマゾン、楽天などネットショップのマザーズバッグカテゴリで常に売上げ1位、2位にランクされる、ママとベビーのおでかけトート。ポーチとオムツ替えシート付。



現代女性の強い味方。

ルーキャリッジ 2,625円
忙しい女性の忘れものをなくす、時短バッグ「イン」バッグ。昨年の発表以来根強い人気で2個買いやギフト買いが多い。

品を創造するには、女性からの視点・意見が重要で、商品化されたアイデアは女性発信が多い。(代表・神谷さん)。そこには、アンテナを常に高く立て続ける探究心、そして浜松発祥の企業ならではの「やらまいかさピリッ」があつてこそ。ルートートを通して創造者たちの想いに触れ、クリエイティブパワーを感じてみて。

2004年度グッドデザイン賞受賞 トート・アズ・キャンバス



10月10日(トートバッグの日)から翌年の8月末までの間に、思い思いの作品をトートに描きエントリー。応募の中から「TOTE AS CANVAS DESIGN AWARDS」賞が決定される。

詳しくは
<http://www.rootote.com/toteascanvas/>

株式会社 スーパープランニング

☎0120-378047
<http://www.superplanning.co.jp/>